

わろうて

～わかやまろうさい病院からのおてがみ～

2015年
2月1日
第39号
Vol.15 No.1

謹 賀 新 年

和歌山ろうさい病院 病院長 南條 輝志男

平成27年・乙未（きのと・ひつじ）の年頭に当たり、謹んで初春のお慶びを申し上げます。皆様におかれましては、佳き新春をお迎えのことと存じます。昨年皆様には如何な一年だったでしょうか？

世間では昨年は流行語大賞に選ばれた「ダメよ～ダメダメ」な事件として、小保方晴子氏の「STAP細胞」真偽騒動や全聾（？）の作曲家・佐村河内守氏のゴーストライター事件、野々村元兵庫県議・小淵優子代議士などの政治資金問題などがありました。そんな中、青色LED発明の日本人三人がノーベル物理学賞を受賞され、「ありのままで～」インタビューに答えられていた天野浩博士には敬意とともに親しみを感じさせていただきました。御嶽山の噴火や広島市北部の大規模土砂災害など大自然の脅威、エボラ出血熱・テング熱など感染症の脅威と、それらの対策・備えの重要性を再認識させられました。一方、中国船による尖閣諸島や小笠原諸島近海での領海侵犯、ウクライナ情勢・イスラム国による相次ぐテロ事件など、世界中がキナ臭い状況下、安倍晋三内閣が「**集団的自衛権**」行使容認を閣議決定されました。このことが国民の安全を守る上で吉に出るのか、特に海外旅行の際には気になる所です。この様に暗いニュースの多い中、日本人スポーツ選手の活躍で勇気付けられました。ソチ五輪フィギュアスケートで羽生結弦選手が金メダルを獲得し、その後のGPシリーズ2014中国大会でのまさかの負傷を乗り越えてのGPファイナル優勝、これこそ**レジェンド**（伝説）に残る快挙だと思います。また、テニスの錦織圭選手が全米オープン準優勝とATPツアーファイナル4強入り、メジャーリーグ移籍後も大活躍の田中将大投手など、昨年のスポーツ界は男性選手の活躍が目立った年でもありました。

一方、和歌山ろうさい病院では呼吸器・乳腺外科部長の前部屋進自先生が10月25日にご逝去されましたことを慎んでご報告申し上げます。前部屋先生は病魔と闘いながらも気丈夫にギリギリまで診療活動に従事され、職員一同、頭が下がる思いでした。慎んで故人のご冥福を祈念申し上げます。また、当院の看板として大活躍いただいております脳神経外科部長の寺田友昭先生は9月1日付で昭和大学藤が丘病院の教授に抜擢され、その後任として桑田俊和先生が部長にご赴任されております。その他、人事面では昨年4月から日赤和歌山医療センター腎臓内科前部長の大伴裕美子先生（非常勤）、内視鏡外科の権威であられる岩橋誠部長をお迎えすることができ、よりレベルの高い医療を提供できる体制になっています。本年も更に実力派の医師確保に努力し、地域の皆様にとりまして「**個性輝く、魅力溢れる病院**」であり続けられるよう精進させていただきますので、変わらぬご指導・ご支援を宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、「大災害に強い病院づくり」のため、8月18日にヘリポートを併設した新棟「災害医療研修棟（仮称）」に着工し、本年6月末には完成予定であることをご報告申し上げます。工事中は近隣の皆様に色々ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますがご容赦下さい。

本年が皆様にとりまして、ご多幸の年となりますよう、心より祈念申し上げます。



日本医療機能評価機構認定病院
地域医療支援病院

独立行政法人 労働者健康福祉機構

和歌山ろうさい病院

〒640-8505 和歌山市木ノ本93-1

TEL.073-451-3181(代)

FAX.073-452-7171(代)・073-451-3788

(医療連携センター専用FAX)

ホームページ <http://www.wakayamah.rofuku.go.jp/> E-mail info@wakayamah.rofuku.go.jp

和歌山労災病院の理念

地域の人々と勤労者に、地域医療機関と密接に連携しつつ、安全に十分配慮した先端的医療を提供する

新棟建設工事について

当院は、地域医療支援病院として地域の住民と医療機関にとって「利用しやすい病院」、「信頼される病院」であることを目標に病院づくりに取り組んできました。その結果、質の高い活発な診療の実施と高い病床利用率と多くの外来患者数により良好な経営基盤の確立がなされてきており、これをさらに発展させていくため「個性輝く魅力あふれる病院」作りを新たなスローガンとして取り組みを始め、その中心として「大災害に強い病院」を目指しています。

当院は和歌山市を二分する紀ノ川の北西部に位置しており、地震等の大災害発生時に紀ノ川を渡る橋が通行不能となった場合には、紀ノ川対岸の市中心部から孤立した状態が想定され、同時に和歌山市人口の約4割の住民は当院に頼らざるを得ない状況が発生します。当地域では向う30年以内の発生率は70%といわれる南海トラフ地震の発生による被害が想定されており、紀ノ川北西部地域において、唯一の公的病院として当院が医療機能を発揮できるよう備えることは、地域の公的病院として市民の安心と信頼を獲得し、また地域の医療機関との連携・信頼関係を強化する上で不可欠なことと考えております。

大災害時に災害拠点病院として当院が求められている役割を果たしていくための機能強化を目的として、平成26年8月より本館南側に大災害等の緊急時利用に限定したヘリポートを備えた鉄筋コンクリート造4階建ての新棟建設工事を進めており、本年7月には竣工する予定です。



和歌山市災害医療実施訓練報告

(文責：和歌山県災害医療コーディネーター・第3外科部長 山本 基)

去る11月1日(土)、和歌山市主催による「平成26年度災害医療実地訓練」が、和歌山市医師会・市薬剤師会・消防局などの協力のもと行われました。

東日本大震災以降、毎年参加してきたこの訓練から、「Triage (トリアージ)」や「Treatment (治療)」「Transport (搬送)」については、一応のレベルに達したとの判断により、本年度は「本部機能確立訓練---指揮命令系統が適切に確立できるか---に力点を置くこととしました。

東海・東南海・南海地震が同時発生(マグニチュード8.7・震度5弱~6強)した、との想定に基づき、14:00に訓練はスタートしました。

約30分後には本部・第1/第2トリアージゾーン・各治療ゾーンが順調に立ち上げられ、昨年と同規模の約25人の傷病者の受け入れが開始されました。16:00の訓練終了までにほぼすべての傷病者の受け入れが完了し、ゾーンそれぞれの活動は概ね適切なものでした。

考えてみれば、トリアージとか治療というものは、医療従事者の「本能」みたいなもので、それなりのマニュアルのようなツールが与えられれば、「放っておいてもそれなりに」進行するものです。しかし、本部との連絡・情報伝達や本部での情報分析、本部指示の確認・遵守となると、まだまだ不十分な点がみられました。

傷病者を、「順調に処置」してはいるが、現場判断だけで本部をスルーしてしまった事例。逆に本部指示待ちで固まる、輻輳してしまったPHSに「固執」してしまう現象(直接伝令を走らせればすぐ解決することなんですが...)。現在どの傷病者がどこへ行ってしまったのか?入院患者や各ゾーンの患者数とその内容は?(経時的把握と全数把握)どれだけの医療資源を投入し、残っているのか?病院の「残存体力」は?(状況によっては受け入れ停止を判断せねばなりません)・・・時々刻々変化していく状況・情報を正確・迅速に吸い上げ、分析し、各部署へ指示する---情報伝達(Communication)・分析(Assessment)・指揮命令(Command/Control)---はいかに難しい作業であるか・・・そしてこの本部機能の確立こそがすべての基本であり、かつ重要であるか、を痛感させられた訓練となりました。

このところ災害続きの日本です。大規模(自然)災害に対応するためにも、「本部機能確立訓練」とりわけ「情報処理訓練」を今後積み重ねていく必要があります。



皮膚科

皮膚科の御紹介

皮膚科の対象となる疾患は体の表面（皮膚、皮下、毛、爪）にあらわれる症状すべてで、文字通り「頭のとっぺんから足の爪先まで」です。疾患の種類もアレルギー、腫瘍、感染症、外傷など多岐にわたります。代表的な例を挙げると、湿疹（接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎、皮脂欠乏性湿疹など）、じんましん、にきび、巻き爪、円形脱毛症、皮膚・皮下腫瘍（できもの・しこり）、皮膚悪性腫瘍（皮膚ガン）、ウイルス性疣贅（いぼ）、ヘルペス、みずぼうそう、風疹、蜂窩織炎、とびひ、みずむし、外傷、褥瘡（とこずれ）、やけど、しもやけ、動物咬傷（イヌ・ネコ・ヘビなど）、虫刺され、頭ジラミ・・・と実にさまざまです。

どれも直接目で見る事ができる病変ですので、皮膚科の診断は視診が中心となりますが、似て非なる疾患も少なくありません。例えば、一見ホクロのような皮膚ガン（悪性黒色腫や基底細胞癌）もあり、見過ごされがちです。診断困難な症例では必要十分な検査をいたします。なお、皮膚ガンは早期発見、早期治療すれば根治可能ですので、気になる病変があれば、できるだけ早めに皮膚科を受診してください。

皮膚科の治療には内服、外用、注射、紫外線療法、凍結療法、各種処置、手術などがあります。とくに患者さん自身が自宅で行う外用療法や創処置については、その方法とコツを具体的に説明するよう心がけております。手術は局所麻酔による日帰り手術（原則として予約制）が多くを占めておりますが、全身麻酔を要する大きな腫瘍や下肢の手術など、術後安静が望ましい場合は入院して頂きます。なお、外傷治療や手術では可能なかぎり「キレイな傷あと」を目指します。

気軽に相談しやすく、地域の皆さまに愛される皮膚科でありたいと願っております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

診療科医師紹介

中村 智之 皮膚科部長

日本皮膚科学会専門医
医学博士

下松 達哉 皮膚科医師

日本皮膚科学会専門医

丸山 希実子 皮膚科非常勤医師



左から丸山希実子医師、中村智之部長、下松達哉医師

「かかりつけ医」のご紹介 No.39

和歌山労災病院との「病診連携システム」に参加されている「かかりつけ医」の先生方をシリーズでご紹介しています。

ありいクリニック

- 診療科目 内科 消化器内科
- 住所 〒640-8434
和歌山県和歌山市榎原84-1
- 電話 073-457-9500



ありい けんじ 先生

有井研司先生は平成21年1月に和歌山労災病院消化器医師として、また内視鏡センター長・炎症性腸疾患センター長として多くの患者様の診療、内視鏡検査・治療に携わっていただき、平成24年8月には和歌山市榎原（パームシティ近隣）に『ありいクリニック』を開院されました。

現在ありいクリニックでは、最新の内視鏡機器（胃カメラ・大腸カメラ）を使用した検査や日帰り大腸ポリープ内視鏡検査などを実施しています。また、患者様のご希望により鎮痛剤を使用して苦痛のない検査も受けていただけるだけでなく、患者様が安全に内視鏡検査を受けていただけるように、学会ガイドラインに沿った内視鏡洗浄、内視鏡機器の管理を行っています。さらに地域の皆様のホームドクターとして風邪や生活習慣病（糖尿病・高血圧・高脂血症）などの治療も行っています。

紹介状による連携のみならず労災病院の内視鏡の体制にご協力いただいております。毎週水曜日は労災病院内にて内視鏡検査を実施していただいております。また、積極的に開放型共同病床をご利用いただいている先生の一人でもあります。今後、地域住民への医療と健康を提供し続ける上で、和歌山労災病院が欠かせない重要な連携医療機関（パートナー）のおひとりです。



受章おめでとうございます

東4階病棟の前田悦子師長が平成26年度和歌山県ナース章を受章されました。前田師長は、10月17日（金）、和歌山県庁で行われた授与式に出席し、賞状とメダルを贈呈されました。授与式には県内の医療施設などに永年勤務し、看護の向上や後輩の育成に功績があったとして選ばれた看護師や保健師、助産師など13人が出席しました。



前田師長より一言

この度は、ナース章の受章をいただきありがとうございました。

34年間の永きに渡り、看護師の仕事が続けることができたのは、上司、先輩、同僚、そして家族の支えのお陰と感謝しております。

振り返りますと、8年間の看護師、18年間の看護師長補佐、3年間の医療安全管理者、7年間の看護師長、それぞれの職務を果たすことを通して自身の自己成長につなげることができたと思っています。看護の役割拡大が進められている中で、それを担うことができる人材育成を目指し、微力ながら務めてまいります。

病院からのお知らせ

平成26年度 市民公開講座 (無料相談+無料検査測定)

和歌山ろうさい病院では地域の皆様に市民公開講座として最新の医療情報の提供及び看護、栄養、運動等の無料個別相談や無料の簡易検査測定を行っております。

開催日	講座名	講演 (演題)
H26. 5.11	看護の日	「ロコモティブシンドロームって何？」 「ロコモのセルフチェックと予防」
H26. 6.16	市民公開講座	「寝たきりにならないための骨粗鬆症の基礎知識」
H26. 9.17	市民公開講座	「禁煙すれば、どれだけお得？」 「本当にこわい肥満症そのダイエット、大丈夫？」
H26.10.23	市民公開講座	「闘わないがん治療：粒子線治療」
H26.11.14	世界糖尿病デー	「社会でサポート糖尿病」 「閉塞性動脈硬化症 (足の動脈硬化) の治療」 「糖尿病から目を守る」 「糖尿病治療で認知症を予防する」
H26.11.27	市民公開講座	「感染症である子宮頸がんを知ろう —私の子宮を守るため—」 「家庭でおこなうインフルエンザ・ノロ対策」
H27. 2.17	市民公開講座	「乳がん検診のすすめ ～12人に1人が乳がんの時代だから～」



新任医師紹介



いわし まこと
岩橋 誠
(内視鏡外科)

食道・胃・大腸癌の内視鏡外科手術を専門にしています。地域医療発展のため精一杯がんばりたいと思います。よろしくお願いいたします。



かじもと よしのり
梶本 賀義
(神経内科)

平成26年4月よりろうさい病院神経内科に赴任しました。石本先生に引き続き、今後ともよろしくお願いいたします。



ますの とみぞう
榑野 富造
(循環器内科)

4月からろうさい病院でお世話になります。循環器内科の榑野と申します。よろしくお願いいたします。



うめもと ひでとし
梅本 秀俊
(泌尿器科)

上門部長の下泌尿器科医として勉強させていただきます。至らぬ点が多いと思いますが、よろしくお願いいたします。



てらぐち まさとし
寺口 真年
(整形外科)

整形外科の若手としてがんばります。いつでも声をかけてください。



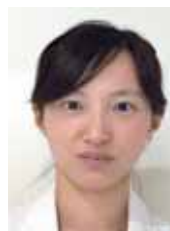
くわた としかず
桑田 俊和
(脳神経外科)

県内のいろいろな病院で御世話になりましたが、当院は初めてです。どうぞよろしくお願いいたします。



はやし のぶひで
林 宣秀
(脳神経外科)

患者さん中心の全人的医療をチームで行っていきたく思います。安全・確実な手技を目指します。どうぞよろしくお願いいたします。



にでかわ ゆか
二出川 裕香
(眼科)

ご迷惑をたくさんおかけすると思いますが、よろしくお願いいたします。



あべ ひろこ
阿部 弘子
(消化器内科)

研修医の頃から、何度か働かせて頂いた労災病院でまた働かせて頂けて幸せです。何卒よろしくお願いいたします。

和歌山労災病院 (外来診療科担当医一覧表) 平成27年2月1日現在

診療科	ブロック	診察室	月	火	水	木	金
内科	A	①番	中 啓吾 中尾 隆太郎	石亀 昌幸 増井 由毅	中 啓吾 中尾 隆太郎	石亀 昌幸 当番医	中 啓吾 増井 由毅
		⑦番	大伴 裕美子 (午前) (腎臓内科)	南條 輝志男	—	—	—
		⑪番 ⑭番	梶本 賀義 —	高橋 麻衣子 —	休診	梶本 賀義 高橋 麻衣子	梶本 賀義 —
神経内科	A	⑩番	阪口 臨	阪口 臨	休診	休診	阪口 臨
血液内科	A	⑤番 ⑥番 ⑪番	細 隆信 辰田 仁美 安田 祐子	細 隆信 庄野 剛史 原 猛	藤田 篤代 吉松 卓 原 猛	細 隆信 辰田 仁美 原 猛	庄野 剛史 吉松 卓 安田 祐子
呼吸器内科	A	⑫番	阿部 弘子	—	三田 真理子	内視鏡センター診 垣本 哲宏	垣本 哲宏
消化器内科	B	⑬番	—	—	—	—	—
循環器内科	A	⑧番	大河内 啓史	九鬼 新太郎	林 泰	当番医	梶野 富造
		⑨番	林 泰 【新患診】	—	当番医	—	当番医
小児科	C	⑨番	青柳 憲幸	檜皮谷 朋子	青柳 憲幸	青柳 憲幸	檜皮谷 朋子
		⑩番	大元 浩明	小森 有紀	檜皮谷 朋子	大元 浩明	小森 有紀
		特診⑨	小森 有紀	—	大元 浩明	青柳 憲幸	宮代 英吉 【再診のみ】
		特診⑩	大元 浩明	青柳 【予防接種】	檜皮谷 朋子	1・3週 心エコー 根来 博之	—
外科	B	⑦番	小林 康人	吹上 理	岩橋 誠	肝・胆・膵 小林 康人	上部消化管 山本 基
		⑧番	山本 基	寺澤 宏	吹上 理	胃・大腸・食道 岩橋 誠	寺澤 宏
		⑨番	—	—	—	出口 真彰 緩和ケア・NST外来 (寺澤)	—
		⑩番	—	—	—	ストーマ外来 (予約制)	—
整形外科	B	③番	佐々木 俊二	脊椎センター診 安藤 宗治	手外科診 峠 康	スポーツ整形診 佐々木 俊二	安藤 宗治
		④番	峠 康	坂田 亮介	麻殖生 和博	麻殖生 和博	関節リウマチ診 坂田 亮介
		⑤番	当番医 当番医	福井 大輔 当番医	寺口 真年 当番医	寺口 真年 当番医	福井 大輔 当番医
脳神経外科	A	⑫番	【第1週目】 寺田 友昭	林 宣秀	桑田 俊和	当番医	岡田 秀雄
		⑬番	【第2週目以降】 桑田 俊和				
		⑭番	岡田 秀雄	当番医	戸村 九月	—	林 宣秀
		救急待機	戸村 九月	当番医	当番医	当番医	佐々木 貴浩 当番医
呼吸器・乳腺外科	A	③番	休診	当番医 (呼吸器外科)	玉置 剛司 (午前) (乳腺外来)	玉置 剛司 (乳腺外来)	川路 万理 (呼吸器外科・乳腺外来)
皮膚科	D	①番	中村 智之	当番医	中村 智之	丸山 希実子	中村 智之
		②番	下松 達哉	当番医	下松 達哉	下松 達哉	丸山 希実子
泌尿器科	C	①番	上門 康成	森 喬史	休診	上門 康成	休診
産婦人科	D	②番	康 根浩	康 根浩	当番医	森 喬史	当番医
		⑩番	—	—	—	—	—
		⑫番	矢本 希夫	助産外来 (予約制)	矢本 希夫	助産外来 (予約制)	尾谷 功
		⑮番	谷本 敏	尾谷 功	竹中 由夏	谷本 敏	竹中 由夏
午後予約	—	—	—	谷本 敏	胎児超音波スクリーニング (予約制)		
眼科	D	⑤番	大川 記羊美	大川 記羊美	大川 記羊美	休診	大川 記羊美
		⑥番	二出川 裕香	—	二出川 裕香		二出川 裕香
		午後予約	—	—	—	—	第1・3週 コンタクト (予約制)
耳鼻咽喉科	C	⑤番	横山 道明	休診	森山 智美	横山 道明	小上 真史
		⑥番	小上 真史		当番医	森山 智美	当番医
		⑦番	—		—	—	—
午後予約	—	—	—	第1・3週 睡眠時無呼吸外来 当番医	—		
リハビリ科	D	1診	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子
放射線科		2診	当番医	峠 康	—	—	—
女性専用外来 (完全予約制)	A・D	1診	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸
		2診	塩谷 健	塩谷 健	塩谷 健	塩谷 健	塩谷 健
		午後 【予約制】	—	第2週 婦人科外来 柳川 百世	第1・2・3・4週 総合(漢方)外来 辰田 仁美	第1週 乳腺・肛門外来 浦 希未子	—
		A⑦番 D⑩番	—	第4週 婦人科外来 笠野 有里	第1週 漢方外来 松本 朋子	第2・3・5週 乳腺外来 川路 万理	—
午後 予約	—	第2週 漢方外来 清水 みり	—	第4週 漢方外来 神人 美穂子	—		
専門外来	健診センター【予約制】	禁煙外来 庄野 剛史	—	—	禁煙外来 庄野 剛史	肥満外来 石亀 昌幸	

- (注1) 1.小児科の午後は、予約者を対象に専門外来を行っています。
 2.呼吸器・乳腺外科の月曜日、耳鼻いんこう科の火曜日、泌尿器科の水曜日・金曜日、眼科の木曜日は手術のため休診です。
 3.母親教室は、毎週木曜日 14時～16時です。(予約制)
 4.助産外来は、毎週火曜・木曜日 9時～15時です。(予約制)
 5.耳鼻いんこう科の木曜日の午後の診察時間は、13時～15時となっております。
 6.糖尿病教室は、平日月曜日～金曜日に開催しております。詳細については内科外来にお問合せください。
 7.女性外来・専門外来は、完全予約制となっております。
 お申込みは、勤労者医療総合センター直通番号(451-3303)までお申込みください。
 8.各診療科の専門外来については、病院代表番号(451-3181)を通じて各専門外来へお問合せください。

- (注2) 1.セカンドオピニオン外来の詳細については、患者サポートセンター
 地域医療連携室(451-3181内線3128)までお問合せください。
 2. は、手術日をあらわしています。

※紹介状をお持ちの際は、必ず診療予約をして頂きますようお願いいたします。
 《診療予約をせうにご来院されますと、担当医師が対応できない場合があります。また対応可能な場合でも、待ち時間がかなり発生いたしますので、前もっての診療予約をお願いいたします》
【予約専用電話】 073-451-3186